

NEWS RELEASE

新発売

軟包装印刷市場を対象とした 水性インクジェットデジタルプレス「Jet Press FP790」 多品種・小ロット印刷に対応し、高い生産性を実現

2024年3月25日

富士フイルム株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一)は、インクジェットデジタルプレス「Jet Press」シリーズの新ラインアップとして、軟包装印刷市場を対象とした水性インクジェットプレス「Jet Press FP790」を本日発売します。「Jet Press FP790」は、食品や日用品などの軟包装の多品種・小ロット印刷に対応し、高い生産性を実現します。尚、当社が、軟包装印刷を可能とする水性インクジェットプレスを市場投入するのは、今回が初めてです。



Jet Press FP790

食品や日用品などの軟包装印刷市場では、絵柄ごとに版を作成する、フレキソ印刷^{*1}やグラビア印刷^{*2}などの同じ絵柄の大量印刷に向けたアナログ印刷が一般的です。一方、インクジェットをはじめとするデジタル印刷は、版の作成が不要で、絵柄データを印刷機に直接送って印刷できることから、多品種・小ロットでの絵柄印刷を可能とし、顧客からのニーズに柔軟に対応できます。

当社は、2011年にインクジェットデジタルプレス「Jet Press 720」(現在は「Jet Press 750S」を後継機種として販売)を、他社に先駆けて世界の商業印刷市場に導入し、オフセット印刷を凌駕する高画質を実現します。当社は、商業印刷市場で培ったインクジェットの知見や機器の販売ノウハウなどを活かし、今回新たに軟包装印刷向けに「Jet Press FP790」を市場導入します。

「Jet Press FP790」は、軟包装の多品種・小ロット印刷に対応した水性インクジェットプレスで、最大790mm幅のフィルム基材^{*3}に対して毎分50mでの高速印刷を可能とし、高い生産性を発揮します。

また、CMYK^{*4}各色のプリントヘッドに加え、2組の白色プリントヘッドを搭載しました。これにより、パッケージの見た目を大きく左右する、カラー印刷の下地色となる白色の濃度を向上させ、カラーインクの発色性を高めることが可能。色鮮やかな印刷を実現します。さらに、印刷前の基材に処理液を塗布する機構を搭載し、撥水性のあるフィルム基材に対しても高いインク密着性を付与します。この他、1200 dpi X 1200 dpiのプリントヘッドにより、高解像度での印刷が可能です。

当社は、今後も、デジタル化が加速する印刷市場に対して、画期的な製品を開発・提供し、世界の印刷産業の発展に貢献していきます。

なお、本製品は、5月28日（火）から6月7日（金）にドイツ・デュッセルドルフで開催される国際印刷・メディア産業展「drupa 2024」の富士フィルムブースにて出展予定です。

- ※1 柔軟なゴムや樹脂で作られた版にインクを付着させ、紙やフィルムなどの印刷基材に転移させる凸版印刷の一種。
- ※2 絵柄が彫り込まれた「版の凹み」にインクを転移させ、紙やフィルムなどの印刷基材に転写させる凹版印刷の一種。
- ※3 本商品の対応基材はBOPPフィルム・PETフィルム。
- ※4 Cyan（シアン）、Magenta（マゼンタ）、Yellow（イエロー）、Black（ブラック）の色。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

報道関係 富士フィルムホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ TEL: 03-6271-2000

お客さま 富士フィルム株式会社

グラフィックコミュニケーション事業部 TEL : 03-6271-3961